

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

| ※受理番号      | 学 校        | 教 科    | 種 目  | 学 年    |
|------------|------------|--------|------|--------|
| 31-6       | 中学校        | 音楽     | 器楽合奏 | 第1～3学年 |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名  |      |        |
| 27 教芸      | 器楽 752     | 中学生の器楽 |      |        |

## 1. 編修の基本方針

### 編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して、生徒に「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

- 音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力。
- 音楽の幅広い知識や技能。
- 主体的・対話的で深い学びの実現によって得られる、汎用性の高い学力。

こうした課題に取り組むために、次のようなことに留意して編修いたしました。

### 3つの 基本方針

#### 基本方針 1

さまざまな音楽文化に  
触れられるようにします。

我が国や諸外国に伝わるさまざまな音楽に触れ、  
そのよさを感じ取りながら、表現活動ができる  
ようにしました。



#### 基本方針 2

音楽の幅広い知識や技能を  
得られるようにします。

楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための  
技能を確実に得られるように、さまざまな工夫を  
しました。



#### 基本方針 3

主体的・対話的な学習を引き出し、  
深い学びを促します。

課題意識をもって、友達と対話、協働しながら  
学習することで、学びの質を深めます。



## 1

我が国や諸外国に伝わるさまざまな音楽に触れ、そのよさを感じ取りながら、表現活動ができるようにしました。

**1 和楽器による表現活動を通して、我が国の伝統的な音楽のよさに触れます。**

[illegible]

(p.40 · 41)

[illegible]

**2** さまざまな音楽と楽器とのつながりを知ることができます。

| 日本音楽の楽器構成                                                                     |                                                                                     |                                                                                                 |                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本音楽には、さまざまな楽器が用いられる。ここでは、それぞれの音楽で演奏される主要な楽器を紹介する。竹、笛、打楽器の組み合わせが特に注目してまいらしよう。 |                                                                                     |                                                                                                 |                                                                                                |
|                                                                               | 管楽器                                                                                 | 弦楽器                                                                                             | 打楽器                                                                                            |
| 民謡(民謡)                                                                        |  | <br>尺八 三味線 箏 | <br>太鼓 盆 大鼓 |
| 能・狂言                                                                          |  | <br>箏        | <br>鼓 太鼓 大鼓 |
| 歌舞伎(歌舞伎)                                                                      |  | <br>尺八 箏     | <br>鼓 太鼓 大鼓 |
| 文楽(文楽)                                                                        |  | <br>尺八 箏     | <br>鼓 太鼓 大鼓 |
| 三曲合奏                                                                          |  | <br>尺八 箏     | <br>鼓 太鼓 大鼓 |
| 舞臺音楽                                                                          |  | <br>尺八 箏     | <br>鼓 太鼓 大鼓 |

## 日本音楽の楽器編成

[illegible]

バンドの世界をのぞいてみよう

## 音楽の幅広い知識や技能を得られるようにします。

楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための技能を確実に得られるように、さまざまな工夫をしました。

## 1 写真や図版をふんだんに用いて、分かりやすく説明をしています。

### ばちの扱い方

#### 持ち方

右手でばちの真ん中辺りを上から握し、つかむような感じで持ち、小指を反対側から挟み込みます。親指は、ばちの表面にのせます。

左手でばちを支える。小指の位置、親指の位置

親指と人差し指の間にトンネルをつくるイメージで、

#### 姿勢と構え方

##### 姿勢

両膝の間隔を握り拳1つ分ぐらい開き、上体をやや前に倒し、腰を伸ばして正座します。椅子に座る場合は、浅く腰掛け、背もたれに寄りかからないようにします。

##### 楽器の構え方

① 膝ガムを右足の付け根と膝頭の間に置き、その中心に三味線の胴をのせます(ポイント①)。

② 右腕の手首から6〜7cmの辺りを、肩かけの中心よりやや奥寄り(ポイント②)に当たるように構えます(ポイント③)。

ポイント① 胴の先の部分が膝ガムに当たるように、ポイント② 右腕は胴かけの上にのせるのではなく、角にかける。

#### 動かし方

右腕の手首から6〜7cmの辺りを、左手で下から支えます。ばちを持った右手は、扇子をあおぐような感じで動かし、実際に弾くときの動きをイメージします。

予のひらも左腕に附ける。予のひらもストンと下に附ける。

2つの動作を繰り返す。

#### 左手の構え方

指かけを左手の親指と人差し指にかけて、その両指の付け根に棒をのせます。糸を伸ばるときは、人差し指、中指、薬指を使います。

#### 指かけのかけ方

#### 棒ののせ方

### 基本的な奏法

糸にばちを打ち下ろして音を出します。糸を弾く位置は、ばち皮を目安にします。ばち皮は、表皮のばちが当たる部分に貼られている半月状の薄い皮のことです。棒の付け根から2.5cmぐらいのところで、ばちをばち皮に打ち下ろすようにして弾きます。

#### 三の糸を弾く場合

ばちの皮の部分

ばちを握ったところ、ばちを振り上げたところ、ばちが糸にかかったところ、糸を弾き終わったところ

弾く前のばちの位置

#### 弾いてみよう

① 拍子によって、3本の糸がよく響くように弾き方を工夫しましょう。

② 拍子によって、速めに弾く。

③ 響きをよく聴きながら、ゆっくりとした速度で弾く。

(p.52・53)

## 2 見やすく、スッキリとした紙面がスムーズな学習を実現します。

インクルーシブ教育の実現を目指し、特別支援教育や色覚特性の多様性などの観点から、基本的に白を基調とした紙面とし、情報の配置にも配慮しました。

## 打楽器

### クラベス

左手で軽く持ったクラベスの中心付近を、右手で持ったクラベスで打ります。

### カウベル

カウベルを手前に起こして、ばちで先のほうを打みます。

カウベルを揺らして、低い側のほうを打みます。

### アゴゴ

小さいベルを上にして軽く振り、ばちで上のベルを打みます。

下のベルを打みます。

楽譜を弾いた手を離し、次の2つのベルを打ち合わせる。

### ボンゴ

楽器の小さいほうを左側に、大きいほうを右側にして弾きます。

人差し指または中指の第2関節を、鼓面の縁に当ててように打ちます。

### コンガ

楽器の小さいほうを左側に、大きいほうを右側にして弾きます。

親指以外の指の、第3関節の手のひら側を、鼓面の縁に当ててようにして打ちます。

#### こんな奏法もある

左手の手首を軽く揺らせながら、親指の第1関節のところで鼓面を打つ。

左手の親指以外の指の先の部分で鼓面を打つ。

左手の親指以外の指の先の部分で鼓面を打つ。

(p.70・71)



主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。  
課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。

## 1 キャラクターやコラムが主体的・対話的な学習を促します。

考える観点を例示しながら、主体的で対話的な学びを引き出します。

アンサンブルセミナー



深めよう！  
音楽

### パートの役割

- ①～④のパートについて、旋律やリズムなどの特徴を調べてそれぞれの役割を考え、気付いたことをメモしましょう。

①の主旋律は、のびやかに歌い上げるような感じだね。

④の低音は、リズムを隠れているね。

- 4人以上のグループになり、それぞれのパートに合う楽器を選びましょう。

楽器の例

|            |           |         |
|------------|-----------|---------|
| ソプラノ リコーダー | アルト リコーダー | 鍵盤ハーモニカ |
| 鉄琴         | 木琴        | 低音楽器    |
| 電子キーボード    |           |         |

- 選んだ楽器で実際に演奏し、全体の響きを確かめましょう。

パートによって音の高さを1オクターブ変えると感じがかわるね。

1回目と2回目で楽器や音の高さを変えて、響きを変化させてもいいね。

13

(p.13)

アンサンブルセミナー

深めよう！  
音楽

### 曲の構成

- 曲は団の2つの部分で構成されています。それぞれの部分で、各パートのリズムや強弱、音の重なり方などのような特徴があるか調べましょう。

②の部分について

2のパートがずっと「重なり」を「f」で演奏しているね。

1のパートは「重なり」だから、2のパートのリズムに合わせて「f」で力強く演奏したくなるね。

① 1のパート(重なり)→単音のリズム  
② 2のパート→1のパートに合わせて打つリズム

③の部分について

1と2のパートの役割はそれぞれどうなっているかな？

リズムや強弱は③の部分と比べてどう変わったかな？

- 演奏順序は③→①→②になっています。③で調べたことをもとに、それぞれの部分の表現の仕方を工夫しましょう。

注目するポイント

|               |
|---------------|
| テクスチャ(音の重なり方) |
| 強弱            |
| 構成            |

④で変化を付けるにはどう演奏するといふかな？

※音楽—楽器の構造や音の感じなどを言葉で表したものを、これを表す図を記号として、旋律やリズムを記した図を記号として、口頭で説明する。④音楽の図表

15

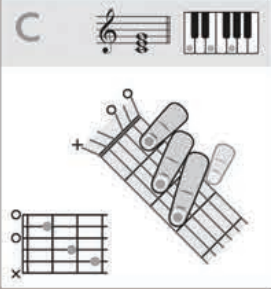
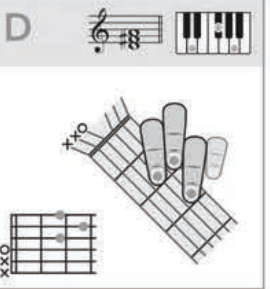
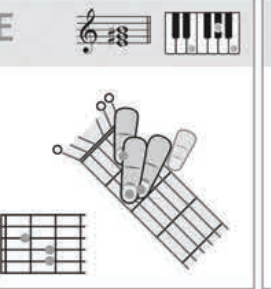
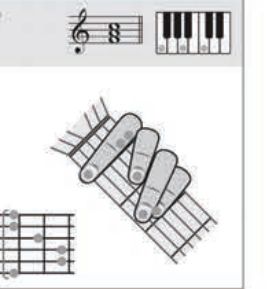
(p.15)

## 特に意を用いた点

### ギターのダイアグラム

奏者の視点からの模式図を併用し、いっそう分かりやすくしました。

メジャーコード

|                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      |                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| C                                                                                   | D                                                                                   | E                                                                                    | F                                                                                     |
|  |  |  |  |

④音楽の図表

(p.102)

## 2. 対照表

| 図書の構成・内容    | 特に意を用いた点や特色                                                    | 該当箇所    |
|-------------|----------------------------------------------------------------|---------|
| 巻頭口絵        | ピアニスト、反田恭平氏のインタビューを掲載し、楽器を通した音楽文化に親しみ尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)   | p.2・3   |
|             | 人が楽器を演奏する、ということはどういうことなのかを社会とのつながりの中で理解できるようにしました。(第四号)        | p.4・5   |
| アンサンブル セミナー | 器楽の活動を通して、音楽科の学力を高めることのできる教材を配置し、その学習手順を示しました。(第一号)            | p.10～15 |
|             | グループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材を含めました。(第三号)                      | p.10～15 |
| リコーダー ～ 打楽器 | 各楽器の特徴や基本的な奏法が理解できるように、分かりやすい写真と説明文を示しました。(第一号)                | p.16～74 |
|             | 生徒一人一人の創造性を育成するために、創作の学習内容を示しました。(第二号)                         | p.49    |
|             | 和楽器を活用した学習活動を通して、我が国の伝統的な音楽に親しみ、そのよさを味わえるようにしました。(第五号)         | p.40～69 |
|             | 諸外国の音楽で使用する楽器を紹介し、それらを用いる音楽により親しめるようにしました。(第五号)                | p.70～74 |
| アンサンブル      | グループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材を含めました。(第三号)                      | p.76～95 |
|             | 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽やその手法を用いた教材を掲載しました。(第五号)    | p.92～95 |
| 楽器で Melody  | さまざまなジャンルの名曲の旋律をリコーダーや和楽器などで演奏し、それらに親しめるようにしました。(第一号)          | p.96～99 |
| 資料          | 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統音楽にどのような楽器が使われているかを示しました。(第五号)  | p.69    |
|             | 和楽器を演奏している中学生の姿を紹介することによって、我が国の伝統的な音楽や楽器への親しみをもてるようにしました。(第五号) | p.107   |

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

| ※受理番号      | 学 校        | 教 科    | 種 目  | 学 年    |
|------------|------------|--------|------|--------|
| 31-6       | 中学校        | 音楽     | 器楽合奏 | 第1～3学年 |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | ※教科書名  |      |        |
| 27 教芸      | 器楽 752     | 中学生の器楽 |      |        |

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

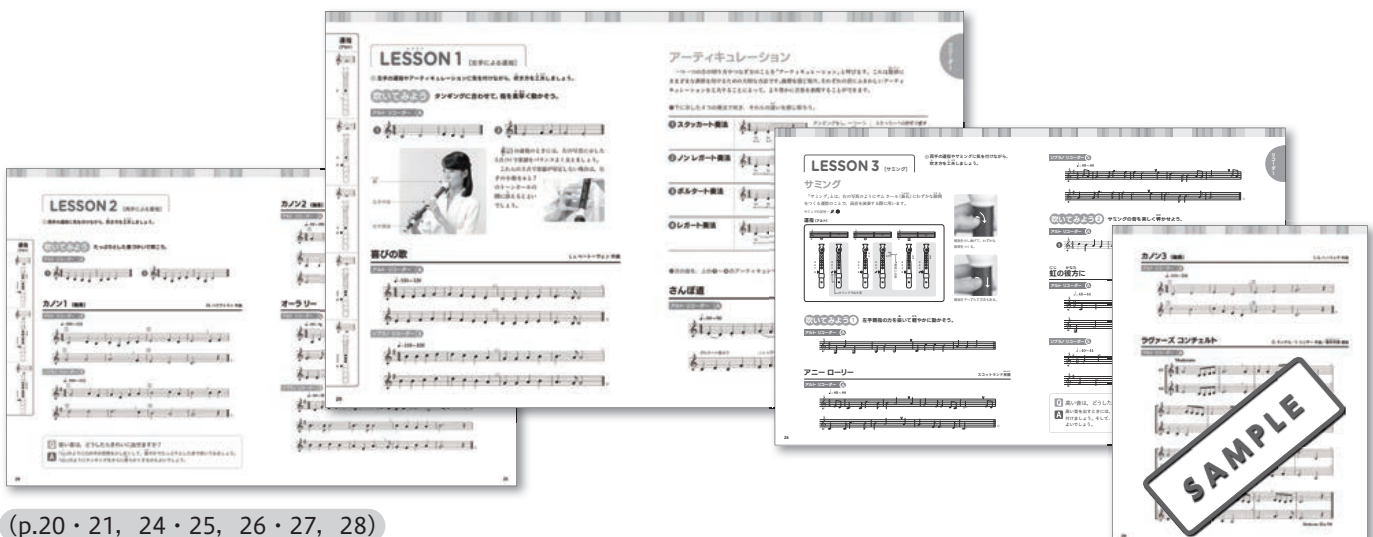
### 1 学習指導要領に示された内容を確実に学習できます。

「器楽」の活動を通した「学び」に注目できるように「アンサンブル セミナー」をはじめに示しました。



### 2 楽器の奏法，基本的な技能を確実に習得できます。

さまざまな楽器の奏法，基本的な技能を分かりやすく説明しました。手順を追って無理なく取り組むことができます。



(p.20・21, 24・25, 26・27, 28)



### 3 エキスパートの方々からのメッセージを掲載しました。

各楽器の奏者の方々から、エキスパートならではのメッセージを紹介しました。

(p.66)



藤原道山さんからのメッセージ

尺八は、指孔の数が少ないシンプルな楽器ですが、息や舌の使い方、首の動きでさまざまな音をつくることができます。シンプルだからこそ無限の可能性をもつ、自分の思いを表現できる楽器だと思います。

(p.40)



遠藤千晶さんからのメッセージ

箏は、あの弾き方によってさまざまな音色を出すことができる楽器です。また、『平家物語』(Op.41)などに描かれた糸を指で弾くことによって、日本の音階の美しさを感じ取ることができます。一つ一つの音の響きをよく聴きながら、思いをこめて演奏をしてください。

(p.62)



新保有生さんからのメッセージ

篠笛はシンプルなくりの楽器ですが、柔らかい音から華やかな音まで幅広い表現ができます。音色だけでなく指打ちなどの技法によって、演奏者ごとに全く違う個性をもった音になるところもこの楽器のおもしろさです。

(p.56)



ヒダノ修一さんからのメッセージ

日本の太鼓は、音楽として楽しめるだけでなく、日本古来の伝説や歴史にもたびたび登場するとても重要な楽器です。友達どうしで呼吸を合わせることで、すばらしいアンサンブルをつくり上げることができます。心と心をつなぐリズムの響きを求めて、両手をしっかりと上げ、大きな声を出して楽しんでください。

(p.50)



井屋栄八郎さんからのメッセージ

『三味線』はその名前のとおり、それぞれ音色の異なる3本の糸を、ばらを使って演奏する楽器です。3本の糸からそれぞれどのような音が出るのか、まずは実際に弾いてみて、その魅力を見つけてください。

### 4 さまざまな編成、ジャンルの合奏曲を掲載しました。

さまざまな楽器に対応し、多彩なジャンルの音楽に触れられるような合奏曲を掲載しました。

(p.77)



(p.84)



(p.86)



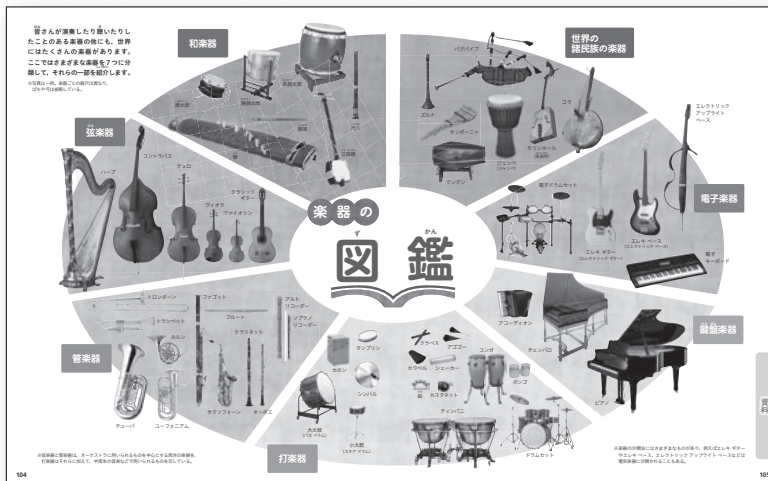
(p.92)



(p.94)

## 5 分かりやすい資料を豊富に掲載しました。

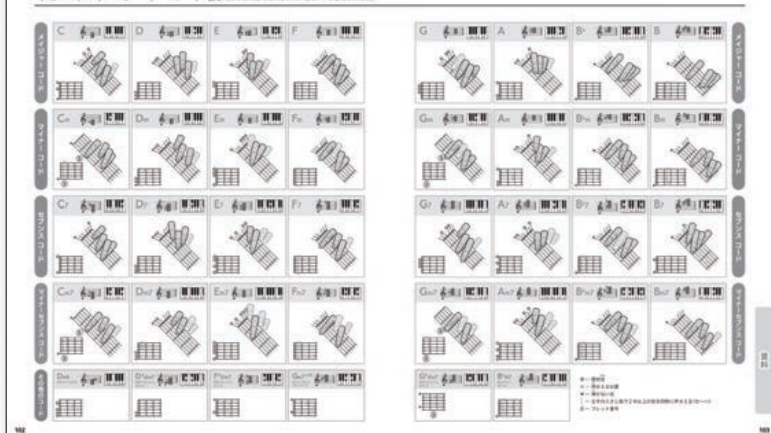
器楽の学習や活動をサポートするための資料を豊富に掲載しました。



(p.104・105)

楽器の図鑑

### ギター／キーボードコード表



(p.102・103)

ギター／キーボードコード表

## 6 器楽の活動への意欲を引き出す特集

学習のきっかけとなる参考資料を掲載しました。



(p.2・3) ピアノで語ること



楽しもう！和楽器の音楽 (p.107)



## 7 教科書の特徴

|      |              |                                                                                                                                                                               |
|------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本事項 | 教育基本法の遵守     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。</li> <li>①音楽を愛好し、自らの生活に生かす心を育む。 ②確かな音楽科の学力を育む。</li> <li>③主体的・対話的に学習に取り組む態度を育てる。</li> </ul> |
|      | 学習指導要領の遵守    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容項目は漏れなく押さえました。</li> </ul>                                                                                |
| 内 容  | 系統性          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年を通して、学習指導要領の内容に示された学習が段階的に進められるように教材を選択しています。</li> </ul>                                                                           |
|      | 配列・分量        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習目標と活動文を明示した「アンサンブル セミナー」を冒頭に配列し、器楽を通した学習が行えるように配慮しました。(p.10～15)</li> </ul>                                                          |
|      | 学習意欲・主体性の育成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●目次とは別に、器楽と創作の2分野について、1年間の学びを俯瞰できるページを配置しました。(p.8・9)</li> </ul>                                                                        |
|      | アンサンブル セミナー  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習目標と活動文を明示し、器楽を通した学習が行えるように配慮しました。(p.10～15)</li> </ul>                                                                               |
|      | リコーダー ～ 打楽器  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各楽器の特徴を理解し、その表現活動に必要な基本的な技能を習得できるように内容を精選しました。(p.16～74)</li> </ul>                                                                    |
|      | 創作教材         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●筆による表現活動に関連して、スムーズに創作の学習に結び付けられるようにしました。(p.49)</li> </ul>                                                                             |
|      | 〔共通事項〕       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「アンサンブル セミナー」では、その教材を指導する際の目安となる、〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素を表示しました。(p.10～15)</li> </ul>                                                  |
|      | 主体的・対話的で深い学び | <ul style="list-style-type: none"> <li>●吹き出しなどで生徒の思考の例を明示することによって、生徒の「思いや意図」を生かしながら、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようにしました。(p.11, 13, 15)</li> </ul>                                     |
|      | 伝統文化の尊重      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●我が国の伝統的な音楽に親しみながら、それらのよさを感じ取り、愛着をもつことができるようにしました。(p.40～69, p.92～95, p.98・99, p.107)</li> </ul>                                        |
|      | 国際理解         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特に「打楽器」のセクションでは、諸外国の民族楽器も取り上げ、諸外国の音楽文化に対する理解が進むように配慮しました。(p.70～74)</li> </ul>                                                         |
| その他  | 社会とのつながり     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活や社会と音楽とのつながりを実感できる教材を掲載しました。(p.4・5, p.107)</li> </ul>                                                                               |
|      | ICT 機器の活用    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●紙面上の二次元コードに埋め込まれた URL を読み取ることによって、学習をサポートする参考資料を閲覧することができるようにしました。</li> </ul>                                                         |
|      | 特別支援教育への配慮   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育の専門家から助言を得て、学習活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。</li> </ul>                                                               |
|      |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けが付きにくい生徒の色覚特性にも配慮した配色にしました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないようにしました。</li> </ul>                                          |
|      | 文字・印刷・製本     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないように配慮しました。</li> </ul>                                                                                            |
|      |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●印刷は鮮明で、製本は開きがよく安全で堅牢な「糸中綴じ方式」を採用しました。6本の糸はそれぞれ独立しており、うち1本が損傷しても影響はごく軽微です。</li> </ul>                                                  |

## 2. 対照表

| 図書の構成 |                     | 学習指導要領の内容 |     |     |     |     |    |     |     |   |              |     |    |    |        |    |    |    |
|-------|---------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|---|--------------|-----|----|----|--------|----|----|----|
| ページ   | 教材名                 | 器楽        |     |     |     |     | 創作 |     |     |   | 音楽を形づくっている要素 |     |    |    |        |    |    |    |
|       |                     | ア         | イ   |     | ウ   |     | ア  | イ   |     | ウ | 音色           | リズム | 速度 | 旋律 | テクスチュア | 強弱 | 形式 | 構成 |
|       |                     |           | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) |    | (ア) | (イ) |   |              |     |    |    |        |    |    |    |
| 10    | 聖者の行進               | ◎         | ◎   | ◎   | ◎   | ◎   |    |     |     |   |              |     |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 12    | 千の風になって             | ◎         | ◎   | ◎   | ◎   | ◎   |    |     |     |   | ○            | ○   |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 14    | 風にのって               | ◎         | ◎   | ◎   | ◎   | ◎   |    |     |     |   |              |     |    |    | ○      | ○  |    | ○  |
| 16～31 | リコーダー               | ○         |     | ◎   | ◎   | ○   |    |     |     |   | ○            |     |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 32～39 | ギター                 | ○         |     | ◎   | ◎   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 40～48 | 箏                   | ○         |     | ◎   | ◎   | ○   |    |     |     |   | ○            |     |    | ○  |        |    |    |    |
| 49    | My Melody           |           |     |     |     |     | ◎  | ◎   | ◎   | ◎ |              | ○   |    | ○  |        |    |    | ○  |
| 50～55 | 三味線                 | ○         |     | ◎   | ◎   | ○   |    |     |     |   | ○            |     |    | ○  |        |    |    |    |
| 56～61 | 太鼓                  | ○         |     | ◎   | ◎   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   |    |    | ○      |    |    |    |
| 62～65 | 篠笛                  | ○         |     | ◎   | ◎   | ○   |    |     |     |   | ○            |     |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 66～69 | 尺八                  | ○         |     | ◎   | ◎   | ○   |    |     |     |   | ○            |     |    | ○  |        |    |    |    |
| 70～74 | 打楽器                 | ○         |     | ◎   | ◎   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   |    |    |        |    |    |    |
| 76    | Edelweiss           | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   |              |     |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 77    | 星の世界                | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   | ○            |     |    |    | ○      |    |    |    |
| 78    | 春                   | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   | ○            |     |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 79    | I Got Rhythm        | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   |              | ○   |    | ○  | ○      |    |    | ○  |
| 80    | 笑点のテーマ              | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 81    | 海に見える街              | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   |              |     |    | ○  | ○      | ○  |    | ○  |
| 82    | 美女と野獣               | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   |              |     |    | ○  | ○      | ○  |    | ○  |
| 83    | トリスターザ              | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   |    | ○  | ○      | ○  |    |    |
| 84    | ブルタバ（モルダウ）          | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   |              | ○   |    | ○  | ○      |    |    |    |
| 86    | 大きな古時計              | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   |              |     |    |    | ○      |    |    | ○  |
| 87    | One Week            | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   |    |    | ○      |    |    | ○  |
| 88    | クラッピング ラブソディ 第1番    | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   |              | ○   |    |    | ○      |    |    | ○  |
| 90    | 打楽器のための小品           | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   |    |    | ○      | ○  |    |    |
| 92    | MATSURI             | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   |    | ○  | ○      | ○  |    |    |
| 94    | 「寄せの合方」によるリズムアンサンブル | ○         | ○   | ○   | ○   | ○   |    |     |     |   | ○            | ○   | ○  |    | ○      |    |    |    |
| 96～99 | 楽器で Melody          | ○         | ○   | ○   | ○   |     |    |     |     |   | ○            | ○   |    | ○  |        |    |    |    |